

## 27 湯泊笠踊り、(ユドマリカサオドリ)

指定 昭和 56 年 9 月 30 日 町指定無形民俗浴文化財

所在地 湯泊

笠踊りは、江戸時代末期から明治時代初期（1865～70 年）の頃、湯泊海岸に漂着した糸満（琉球）人数名を、湯泊村民が親身になって介抱したお礼に教えてくれたという説と、帆船時代に南風に乗って漁に来た彼らは北風が吹かないので帰ることができず、湯泊に逗留して、お世話になったお礼に教えたという説がある。